タダノサービス情報 〈オールテレーンクレーン〉〈トラッククレーン〉〈ラフテレーンクレーン〉

TSV10－030

旋回ベアリング取付けボルトの定期点検について

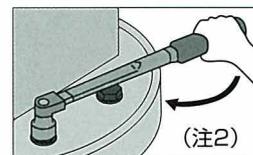
旋回ベアリング取付けボルトは、緩みまたは伸びなどが発生する場合がありますので定期的な点検が必要です。旋回ベアリング取付けボルトが異常な状態でクレーン作業を続けると、ボルトが折損しクレーンの上部と下部が分離して大事故につながります。事故を未然に防ぐため、必ず定期的に取付けボルトの点検を行ってください。

■対象　移動式クレーン（但し、カーゴクレーンを除く）

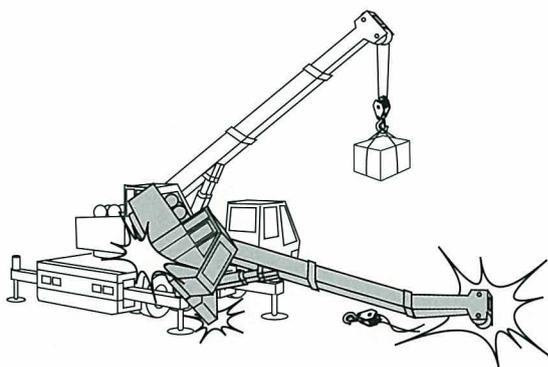
<<定期自主検査（月例）時の点検要領>>

旋回ベアリング取付けボルトに異常（緩み・伸び・錆・折損・脱落）がないか点検してください。
ボルトの緩みと伸びは取付面にすき間が無いことを目視で確認してください。また、テストハンマーを使用して緩みを確認してください。

<<定期自主検査（年次）時の点検要領>>

旋回ベアリング取付けボルトに異常（緩み・伸び・錆・折損・脱落）がないか点検してください。
また、タダノ指定サービス工場でトルクレンチを使用して締め付けトルクを確認してください。

<<異常発見時の処置>

旋回ベアリング取付けボルトに緩みがあるときは、規定トルクで増し締めしてください。
緩み以外の異常が１本でも発見されたときは、タダノ指定サービス工場でボルトを全数交換してください。
新しいボルトに交換するときは、ネジ部にトルク係数安定剤を塗布して規定トルクで締め付けてください。
尚、トルク係数安定剤についてはタダノ指定サービス工場にご確認お願いします。（注1）

旋回ベアリング取付けボルト折損例

旋回ベアリング取付けボルト点検用窓

(注2)

（注1）締付けトルクは各取扱説明書に従ってください。
（注2）旋回ベアリングの形状、ボルトの点検穴、ボルト本数及び締付トルクの測定工具は機種により異なります。詳しくは実機にてご確認願います。

メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ

株式会社 タダノ　サービス企画部作成

20100701